

# 参院選連続調査 第三回 速報

(2007年7月31日～8月1日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	3
III	今回のポイント	6
IV	調査票	10



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

# I 調査の設計

## ◆ 調査の目的

昨年秋、小泉内閣から引き継いだ安倍内閣にとって初めての国政選挙となる参院選が7月12日公示、同29日投開票の日程で行われる。

就任以来「戦後レジームからの脱却」を掲げ、教育基本法の改正、憲法改正を視野に入れた国民投票法の成立など、政治の新たなかじ取りを進めている。

しかし、その足もとでは、閣僚らの「政治とカネ」、社会保険庁の「年金記録の不備」をめぐる問題が相次ぎ、終盤国会の波乱続きの攻防や内閣支持率の低下など、政権基盤は大きく揺らいでいる。

また、小泉内閣の下での平成の大合併、三位一体改革により、地方と大都市圏の財政、産業面で地域間格差も進行しており、政治を見つめる国民の視線がきびしさを増し、小選挙区制の定着により、政治を支える有権者の意識や動向が多様化している。

今回の参院選は、安倍政治に対する審判と今後の日本の方向を占う大きな節目として、有権者の意識と動向を把握することをねらいに、協会モニター500人を対象とする連続調査（公示前、選挙期間中、選挙後の合計3回）を実施する。

## ◆ 調査の設計

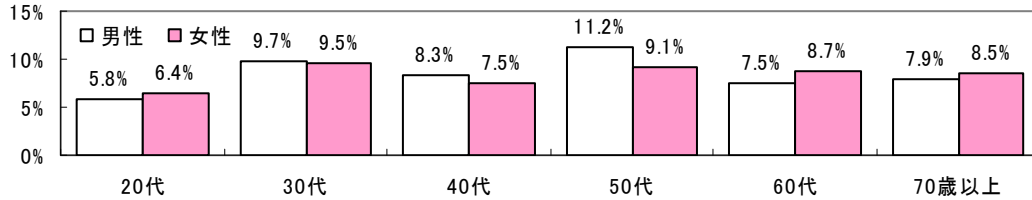
▽調査対象	長野県世論調査協会の登録モニター 県下の成人500人（男性249人 女性251人） ＝男女、年代、地域別の配分が全県有権者の縮図になるように構成
▽調査方法	調査票を郵送 回収は郵送・電話・ファクス・インターネット
▽調査期間	・第1回 2007年6月21日～27日 有効回収数 486人（男性246人 女性240人） 回収率 97.2% ・第2回 2007年7月11日～17日 有効回収数 487人（男性246人 女性241人） 回収率 97.4% ・第3回 2007年7月31日～8月1日 有効回収数 483人（男性243人 女性240人） 回収率 96.6%

<注>報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

# 回収サンプルの内訳（第三回）

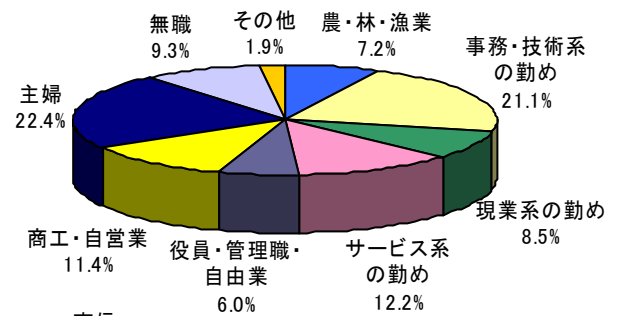
## 【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	483	59	93	76	98	78	79
	100.0%	12.2%	19.3%	15.7%	20.3%	16.1%	16.4%
男性	243	28	47	40	54	36	38
	50.3%	5.8%	9.7%	8.3%	11.2%	7.5%	7.9%
女性	240	31	46	36	44	42	41
	49.7%	6.4%	9.5%	7.5%	9.1%	8.7%	8.5%



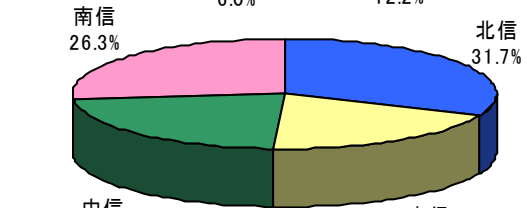
## 【職業】

農・林・漁業	35	7.2%
事務・技術系の勤め	102	21.1%
現業系の勤め	41	8.5%
サービス系の勤め	59	12.2%
役員・管理職・自由業	29	6.0%
商工・自営業	55	11.4%
主婦	108	22.4%
無職	45	9.3%
その他	9	1.9%



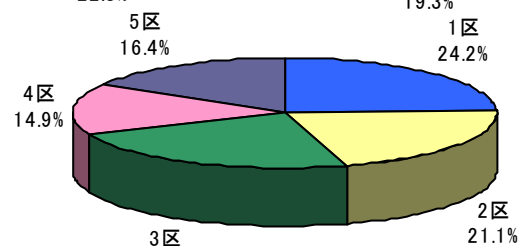
## 【地域】

北信	153	31.7%
東信	93	19.3%
中信	110	22.8%
南信	127	26.3%



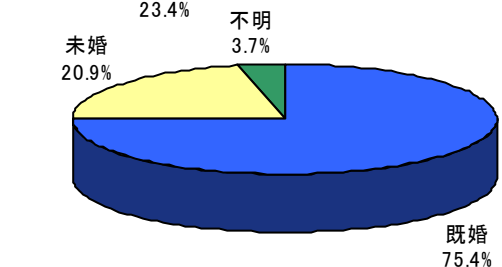
## 【選挙区】

1区	117	24.2%
2区	102	21.1%
3区	113	23.4%
4区	72	14.9%
5区	79	16.4%



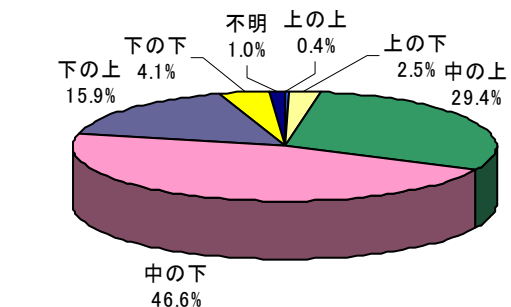
## 【結婚の有無】

既婚	364	75.4%
未婚	101	20.9%
不明	18	3.7%



## 【暮らしぶり】

上の上	2	0.4%
上の下	12	2.5%
中の上	142	29.4%
中の下	225	46.6%
下の上	77	15.9%
下の下	20	4.1%
不明	5	1.0%



## II 結果の概要 参院選の受けとめ

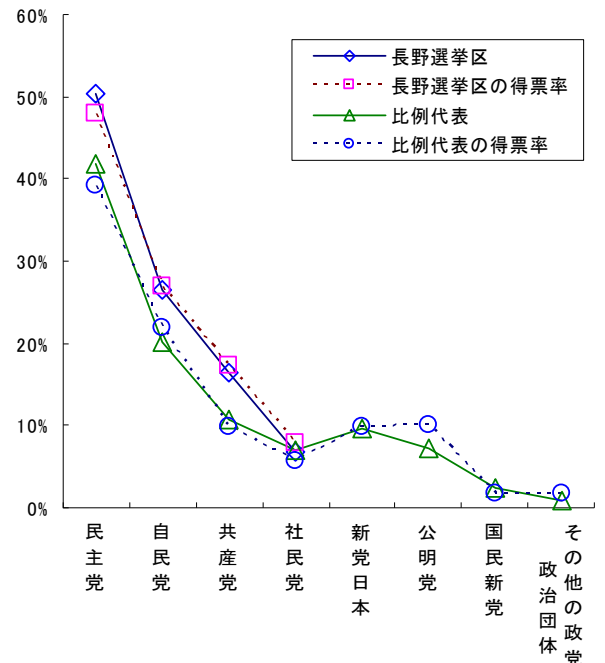
### 参院選の選択

#### ◆選挙区—無党派層は民主へ43% 共産25% 社民10% 自民6%

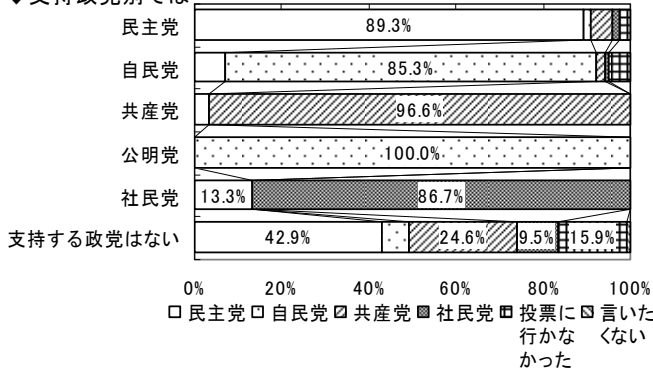
民主党に投票が47%のトップ、自民党には25%でその差は20ポイント余。共産党に15%、社民党には6%といった色分け。

男性で民主党が半数に達するが、女性では落ち込み自民党が26%と男性をやや上回る。若い年代層は30～40代で民主党が半数に届く一方で、20代では40%に及ばない。自民党は60代以降で30%台に乗せる。

民主党が支持層の約90%を確保し、自民党も85%の高率で、民主党への“流出”は7%程度にとどまる。支持政党なし層では民主党が43%のトップ。次いで、共産党が25%を確保して二番手に上がり、自民党は6%で社民党(10%)を下回った。



#### ◆支持政党別では



	長野選挙区	長野選挙区 の得票率	比例代表	比例代表の 得票率
民主党	50.3%	47.9%	41.8%	39.1%
自民党	26.5%	26.8%	20.2%	21.9%
共産党	16.5%	17.3%	10.8%	9.8%
社民党	6.7%	8.0%	7.0%	5.6%
新党日本			9.7%	9.8%
公明党			7.3%	10.2%
国民新党			2.4%	1.8%
その他の政党・ 政治団体			0.9%	1.8%

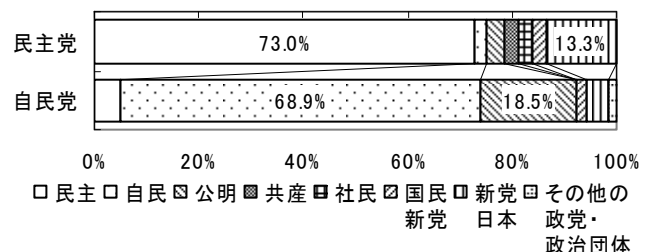
注：回答から「投票に行かなかった」「言いたくない」を除いて算定

#### ◆比例代表—選挙区の自民投票層は自民69%、公明19%

全体として民主党に39%、自民党には19%で、選挙区同様、両党の差はほぼ同じ。共産党10%が続き、4位に新党日本が9%で食い込んだ。公明党、社民党が7%弱の僅差で続く。

民主党が男性44%—女性35%の開きは選挙区と同様。年代層では20代を除き、30代以降では民主党が40%ラインをほぼキープ。共産党、公明党が40～50代、新党日本は60～70代、社民党が30代と60代で比較的高めになっている。選挙区で民主党に投票した層で民主党が73%確保し、新党日本に13%が“横すべり”。自民党は選挙区投票層の70%弱を確保した半面、選挙協力の公明党に20%近くが流れている。

#### ◆選挙区投票との関連では



## 安倍内閣の評価

### ◆「支持する」横ばい24.2% 自民支持層では4人に3人

「支持する」が24.2% 「支持しない」は75.4%で、参院選前に比べてともに微増。約50ポイントの差も変わらない。全年代層で支持が不支持を下回る中で、20代で10%に届かないが、年代が高まるほどに上昇し70代では40%に迫る。職業層では農林業を筆頭に無職層で支持が高めになっている。その一方で、サービス系、事務・技術職の勤め人層では不支持が80%に達する。

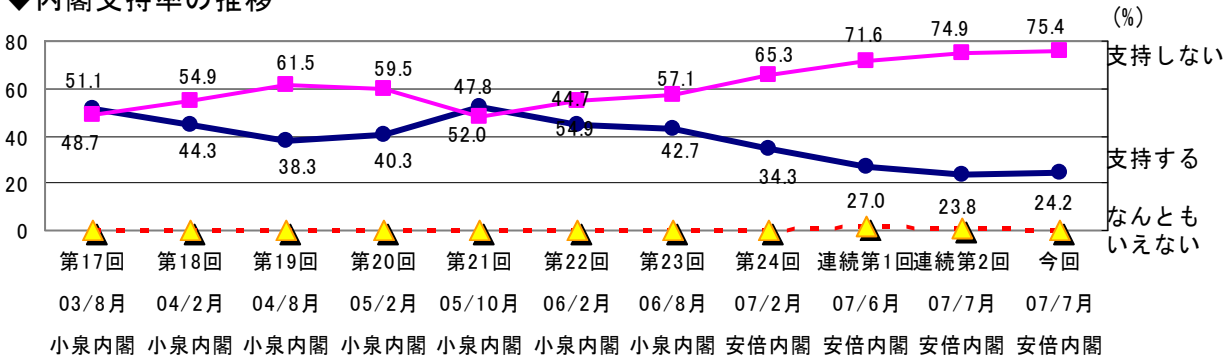
与党の自民党支持層で支持が4人に3人、公明党では半数を超える。しかし、野党では民主党をはじめ共産党、社民党で不支持が90%を突破し、無党派層でも87%の高率で参院選での審判の厳しさは変わらない。

日本の首相に必要とする能力・資質は「リーダーシップ」が引き続きトップ。続く「国民への説明能力」では男性で高めになっている。「政策立案能力」「庶民感覚」の上位も変わらない。

＜歴代内閣の平均支持率＞

村山内閣	37.2%	(調査回数：1回)
橋本内閣	27.2%	(6回)
小渕内閣	17.5%	(3回)
森内閣	9.6%	(2回)
小泉内閣	41.3%	(11回)
安倍内閣	27.3%	(4回)

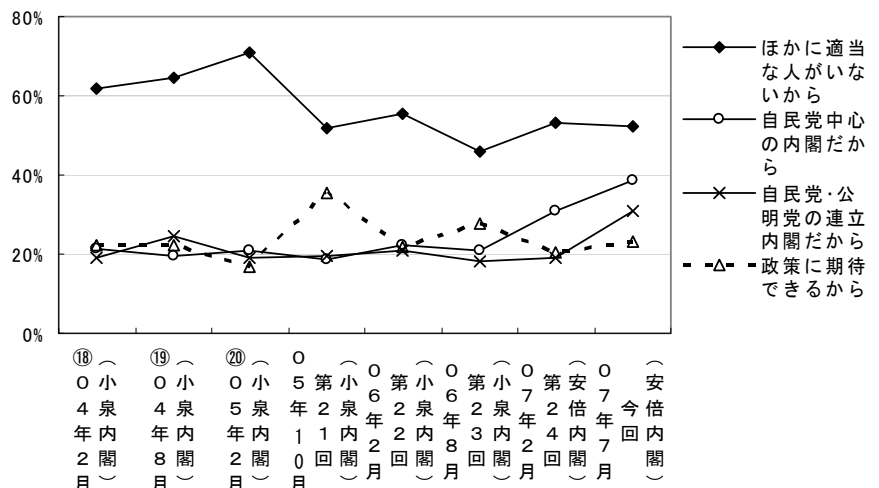
### ◆内閣支持率の推移



### ◆支持の理由「ほかに適当な人がいない」群を抜く

「ほかに適当な人がいない」が今年2月の前回（第24回モニター調査）に引き続き他を引き離し「自民党中心の内閣」が続き、三番手に「自民・公明の連立内閣」が3位に浮上してきた。

「ほかに人がいない」で男女間に関きはないが、60代で60%を超える。無党派層でも67%の高さがめだち、自民、民主党の支持層が40%台でほぼ足並みをそろえる。

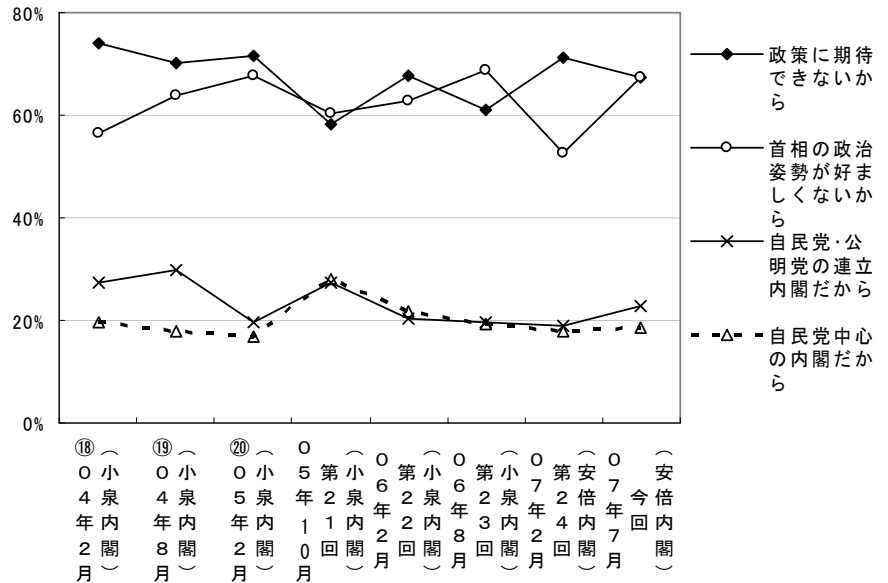


## ◆ 不支持の理由「政治姿勢・手法」が上昇、政策の不満に並ぶ

「首相の政治姿勢・手法が好ましくない」が大幅に上昇し「政策に期待できない」とトップに並んだ。大きく開いて「自民・公明党の連立」と「自民党中心の内閣」が続く。

「政治姿勢・手法」には40代が突出し「政策」では50代が平均値を大きく上回り、女性の割合も高めになっている。

自民党、公明党の支持層は「政治姿勢・手法」が飛び抜けて高く、民主党、無党派層は「政策」で高めになっている。

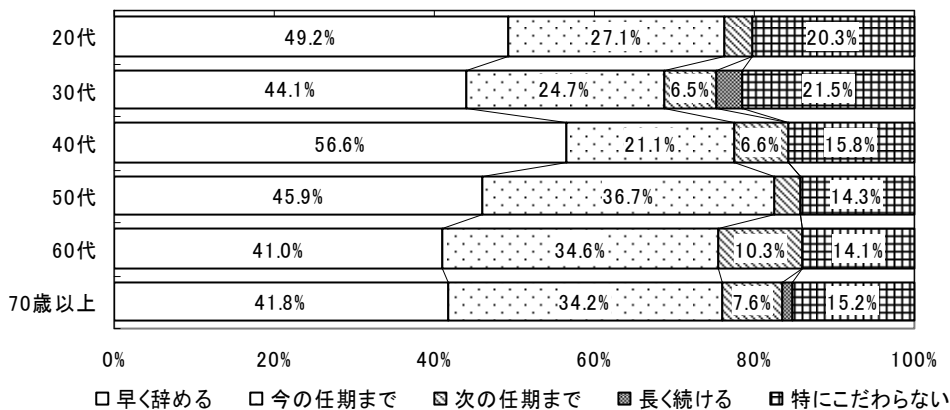


## ◆ 安倍内閣の継続「早く辞める」トップの46% 「任期満了で」30%

「早く辞める」が46%で最も多く男性で高め。「自民党総裁の今の任期」は30%で女性が高め。「特にこだわらない」が17%。早期辞任は40代で57%と最高を示す。「今の任期」では50代以降で30%台半ばの高めになる。

民主党の支持層で「早く辞める」が60%を占めるのに対して、自民党では「今の任期」が半数近くになる。連立与党の公明党は早期辞任がほぼ4人に1人を占め「今の任期」は40%台に乗る。無党派層では「早く辞める」が半数に迫り、今の任期満了はほぼ4人に1人とどまる。

### ◆ 年代別では



### Ⅲ 今回のポイント 政治の方向

#### 政党支持

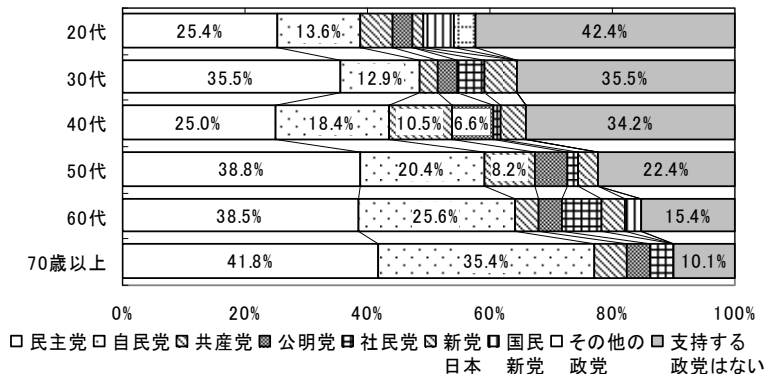
#### ◆民主30%台半ばキープ 自民横ばい21.1% 支持なし微増26.1%

民主党が34.8%、自民党は21.1%で、両党の開きが13.7ポイントで、参院選前の状況とほとんど変わらない。共産党が6.0%で3位を維持し、それに公明党が続き、社民党と新党日本が同率の5位。支持政党なしは26.1%で若干上向き程度となっている。

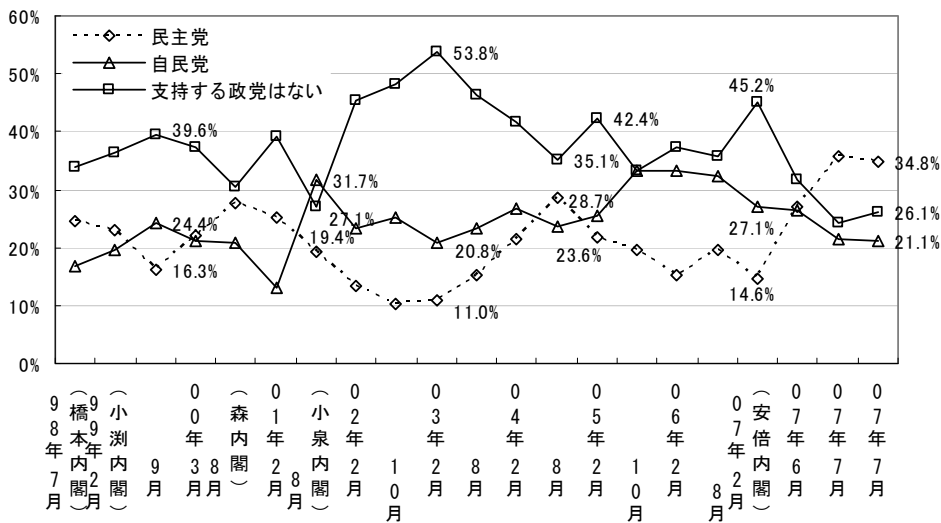
民主党は男性が平均値をやや上回り、女性は届いていないものの、男女差はあまりない。民主党は全年代層で優位にあり、70代で40%を突破するが、20、40代で25%程度に落ち込み、支持政党なしの方が多くなる。自民党は60代以降で平均値を上回る。他の政党では、共産党と公明党が40代、社民党は60代、新党日本は30代で比較的高めになっている。

安倍内閣の支持層で自民党は66%を確保する一方で、公明党が10%台に届く。不支持層は民主党が40%台にとどまり、自民党、共産党が7%前後、支持政党なしが30%にのぼる。

◆年代別では



【政党支持の推移】



#### ◆1、3区で民主40%前後の高率 自民は5区で並ぶ

選挙区で見ると、民主党が1、3区で40%前後に高まり、2、4区でも優位にあるが、5区では24%余で自民党に並ばれている。

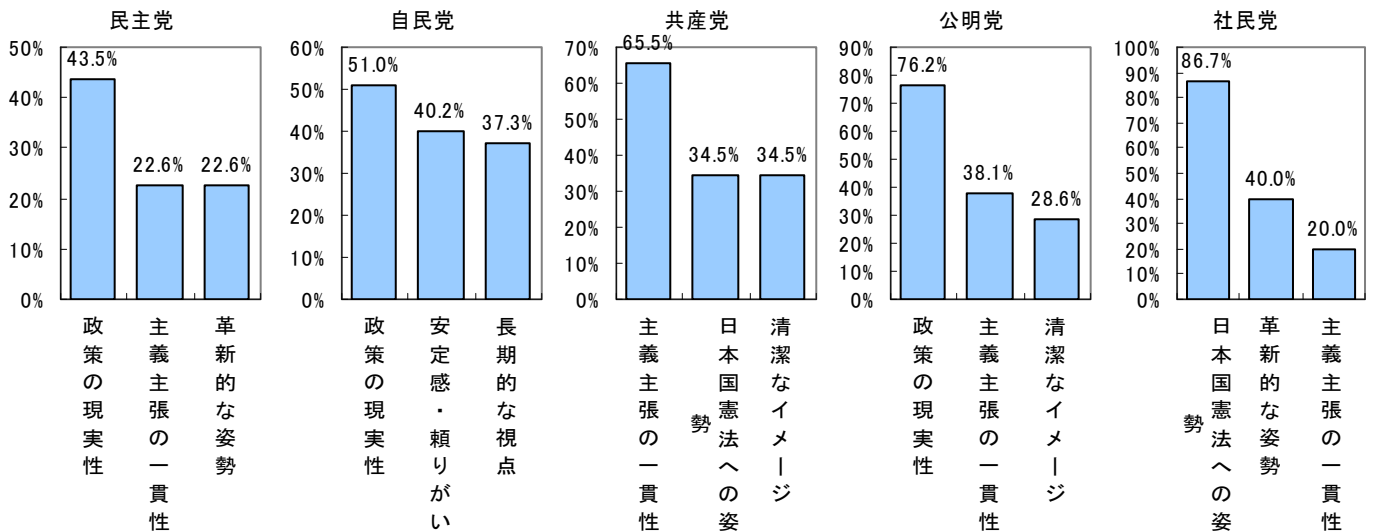
共産党は4区で落ち込むが、他の選挙区では6%台を確保し、公明党は1区、社民党は5区、新党日本は2、4区で比較的支持が厚めになっている。

選挙区	標本数	民主党	自民党	共産党	公明党	社民党	本新党日	党国民新	のそ政の党他	はる支な政持い党す	く答なえいた
1区	117	39.3	17.1	6.8	6.8	2.6	1.7	0.9	-	24.8	-
2区	102	30.4	24.5	6.9	3.9	2.9	5.9	2.0	1.0	22.5	-
3区	113	40.7	16.8	6.2	1.8	3.5	1.8	-	-	29.2	-
4区	72	36.1	26.4	2.8	5.6	-	5.6	1.4	1.4	20.8	-
5区	79	24.1	24.1	6.3	3.8	6.3	1.3	1.3	-	32.9	-

## ◆政党の支持理由「政策の現実性」首位動かず

「政策の現実性」が一貫して首位を維持し、2位に「主義主張の一貫性」が浮上し「長期的な視点」「安定感・頼りがい」の上位に変動はみられない。

政党支持層では、自民党、公明党で「政策の現実性」が重視され、自民党ではこれに加えて「安定感・頼りがい」「長期的な視点」に重きが置かれている。「主義主張」と共産党、「日本国憲法」と社民党といった特有の結びつきが出ている。対照的に、民主党はおおむね平均値に沿う格好になっており、特徴がやや見えにくい。



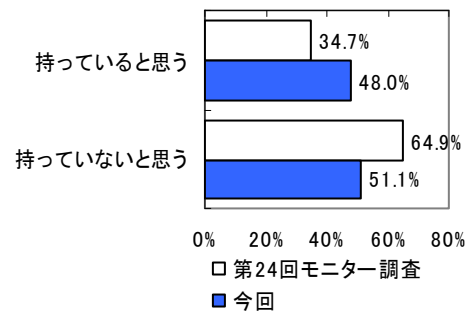
## 民主党の政権担当能力

### ◆「持っている」増加48% 「持っていない」無党派層では60%突破

政権担当能力を「持っている」が48%、「持っていない」は51%と拮抗し、今年2月（第24回モニター調査）から肯定的な受けとめが大幅に伸びた。

男性で肯定的な受けとめが半数を超えるが、女性では10ポイント下回る。年代層では30代と70代が肯定派、40～60代は否定派が優勢になっているが、開きは大きくはない。

民主党の支持層は「持っている」が80%を突破するが、逆に自民党では「持っていない」が80%台半ばの高率を占める。無党派層は肯定的37%—否定的61%と厳しい目線だ。





## 次の衆院選の時期

### ◆「できる限り早めに」39% 「任期満了で」23%

「できる限り早めに」が40%に迫り最も多く「任期満了」が23%で続くが「時期にこだわらない」が同率で並ぶ。「1年後くらいに」(14%)を加えると、比較的早期の解散に肯定的な受けとめが過半数になる。

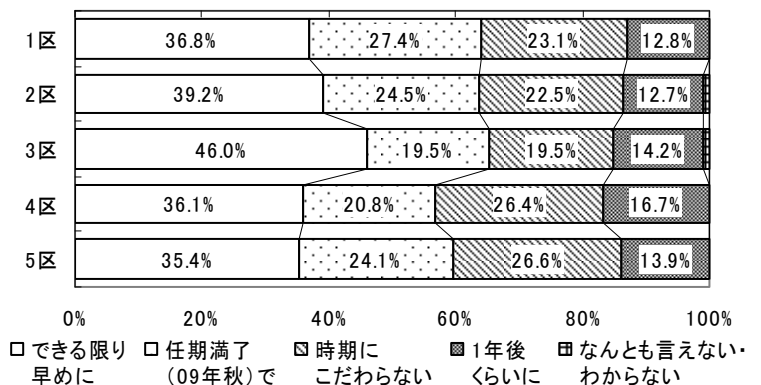
男性で「できる限り早めに」が45%を占め、女性よりも10ポイント高い。年代層では30～40代で積極的な傾向がみられる一方で、60代以降では「任期満了」が30%台にのる。

選挙区別では「できる限り早めに」が3区で46%の高率。「任期満了」は1区の27%が最も高い。

内閣支持層が「任期満了」で約半数を占めるのと対照的に、不支持層では「できる限り早めに」が同じく半数に迫る。

政党支持層では自民党、公明党で「任期満了」が優勢、民主党では早期実施が過半数になる。無党派層は早期実施が40%と最も高いが「こだわらない」も35%の高さを示す。

◆選挙区別では

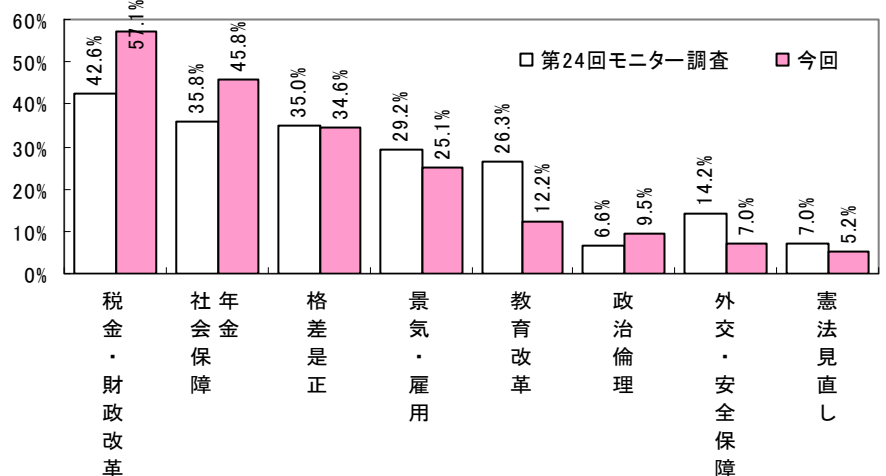


## 今後の重要課題

### ◆ 重要な政策分野「税金・財政改革」トップ 続く「年金」「格差」

「税金・財政改革」が前回(今年2月の第24回モニター調査)より十数ポイント伸びて引き続きトップ。「年金(従来のモニター調査では「社会保障」)も伸びて2位をキープし「格差是正」「景気・雇用」が続く順位も変わらない。参院選の投票前調査で浮上した「憲法見直し」は下位ランクに戻った。

「税金・財政」と「年金」で女性がやや高め、「景気・雇用」では男性がやや高めになっているが、その違いはあまり目立たない。政党支持層でバラツキがあり「税金・財政」で民主党、公明党で高めになっている半面、自民党、無党派層では平均値を割り込む。自民党、公明党、無党派層は「年金」でも低めになっている。



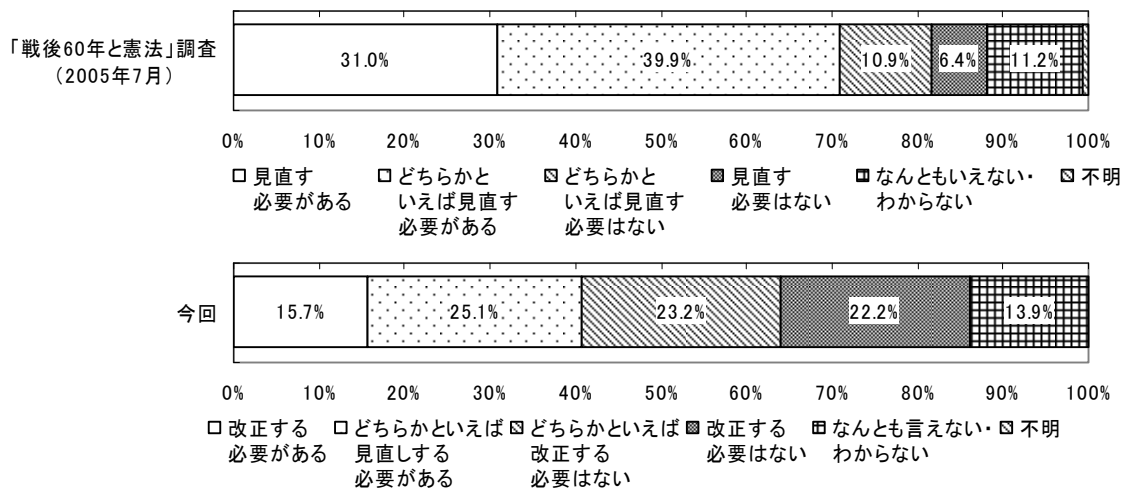
注:「年金」は前回「社会保障」として質問した

## ◆ 憲法改正「必要がある」41%－「必要はない」45%の接近

改正する「必要がある」は総体で41%で、男性46%－女性35%の濃淡がみられる。男性の積極的スタンスが20%余に高まる。「必要はない」は総体でやや優勢の45%で、40～60代で半数に到達する。2年前の当協会「戦後60年と憲法」調査では「必要がある」が総体で71%、「必要はない」は17%だった。

政党支持層では「必要がある」が民主党で40%。自民党では65%にのぼり、かなりの開きが生じている。無党派層では「必要はない」がほぼ半数を占め、必要は31%、「なんともいえない」が20%の内訳になる。

改正の「必要がある」とする層の中で、第9条の改正について「必要がある」が半数を占め「必要はない」が半分以下の21%。「なんともいえない」が30%近くだった。



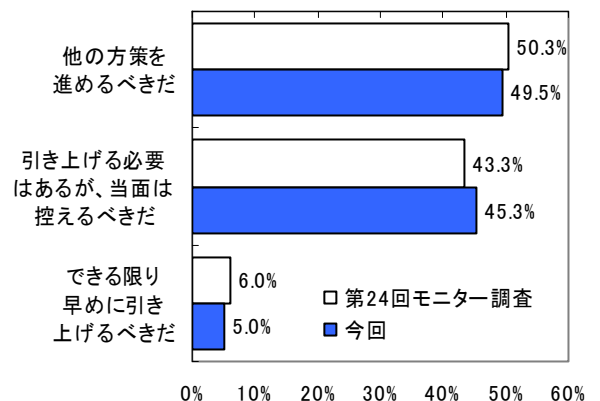
## ◆ 消費税引き上げ「別の方策を」半数 「当面控えるべき」45%

引き上げに肯定的な立場ながら「当面は控えるべきだ」が45%にのぼり「できる限り早めに引き上げるべきだ」は5%程度にとどまる。その一方で「ほかの方策を進めるべきだ」がほぼ半数を占めて最も多くなっている。

参院選後の重要課題で「税金・財政」が筆頭に掲げられる中で、消費税に対するスタンスは、前回（今年2月の第24回モニター調査）とほとんど変わらない。

消費税を「年金や社会保障の財源に特定すること」については賛成42%、反対56%。年代層で60代のみ賛成が上回り、職業層では商工自営。反対は事務・技術職で60%を超える。

政党支持層では公明党、共産党で反対の度合いが高く、自民党、民主党も僅差ながら賛成を上回る。無党派層で反対が60%を超える。



## IV 調査票

- 問1 あなたは、こんどの参院選の長野選挙区で、どの政党の候補者に投票しましたか。  
① 自民党 ④ 社民党  
② 民主党 ⑤ 投票に行かなかった  
③ 共産党 ⑥ 言いたくない
- 問2 あなたは、こんどの参院選の比例代表選挙で、どの政党または政党の候補者に投票しましたか。  
① 自民党 ⑥ 国民新党  
② 民主党 ⑦ 新党日本  
③ 公明党 ⑧ その他の政党・政治団体 ( )  
④ 共産党 ⑨ 投票に行かなかった  
⑤ 社民党 ⑩ 言いたくない
- 問3 あなたは、これからの政治に力を入れてほしい重要な課題は何ですか。  
2つ以内に絞ってお答えください。  
① 教育改革 ⑦ 外交・安全保障  
② 税金・財政改革 ⑧ 景気・雇用  
③ 年金 ⑨ 公共事業  
④ 格差是正 ⑩ その他 ( )  
⑤ 憲法見直し ⑪ 特にない  
⑥ 政治倫理 ⑫ なんとも言えない・わからない
- 問4 あなたは、今の憲法を改正する必要があると思いますか。  
① 改正する必要がある → 問5、6へ  
② どちらかといえば改正する必要がある → 問5、6へ  
③ どちらかといえば改正する必要はない → 問6へ  
④ 改正する必要はない → 問6へ  
⑤ なんとも言えない・わからない → 問6へ
- 問5 (問4で①、②とお答えの方へ)  
あなたは、憲法第9条を改正する必要があると思いますか。  
① 改正する必要がある ③ なんとも言えない・わからない  
② 改正する必要はない
- 問6 あなたは、消費税を今後どうすべきだと思いますか。  
① できる限り早めに引き上げるべきだ  
② 引き上げる必要はあるが、当面は控えるべきだ  
③ 他の方策を進めるべきだ ④ なんとも言えない・わからない
- 問7 消費税を「年金や社会保障の財源」に特定することをどう思いますか。  
① 賛成 ② 反対 ③ なんとも言えない・わからない
- 問8 あなたは、安倍内閣を支持しますか  
① 支持する → 問9、11へ  
② 支持しない → 問10、11へ  
③ なんとも言えない・わからない → 問11へ
- 問9 (問8で「① 支持する」とお答えの方に)  
支持する理由は何ですか。2つ以内に絞ってお答えください。  
① 自民党中心の内閣だから  
② 自民党・公明党の連立内閣だから  
③ 安倍晋三さんが首相だから  
④ 首相の政治姿勢・手法が好ましいから  
⑤ 政策に期待できるから  
⑥ ほかに適当な人がいないから  
⑦ その他 ( )

⑧ なんとなく・特に理由はない

問10 (問8で「② 支持しない」とお答えの方に)

支持しない理由は何ですか。2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 自民党中心の内閣だから
- ② 自民党・公明党の連立内閣だから
- ③ 安倍晋三さんが首相だから
- ④ 首相の政治姿勢・手法が好ましくないから
- ⑤ 政策に期待できないから
- ⑥ ほかに適当な人がいるから
- ⑦ その他 ( )
- ⑧ なんとなく・特に理由はない

問11 あなたは現在、日本の首相にはどのような能力、資質が一番必要だと思いますか。

- ① 清潔さ
- ② 政策立案能力
- ③ バランス感覚
- ④ リーダーシップ
- ⑤ 庶民感覚
- ⑥ 国民への説明能力
- ⑦ 人柄
- ⑧ その他 ( )
- ⑨ 特にない
- ⑩ なんととも言えない・わからない

問12 あなたは、安倍首相が今後どのくらい政権を担当することを望みますか。

- ① 今の任期 (2009年の自民党総裁任期) まで
- ② 次の任期 (2012年の自民党総裁2期) まで
- ③ 長く続ける
- ④ 早く辞める
- ⑤ 特にこだわらない
- ⑥ なんととも言えない・わからない

問13 あなたは、どの政党を支持しますか。

- ① 自民党
  - ② 民主党
  - ③ 公明党
  - ④ 共産党
  - ⑤ 社民党
  - ⑥ 国民新党
  - ⑦ 新党日本
  - ⑧ その他の政党 ( )
- } → 問14、15へ
- 
- ⑨ 支持する政党はない → 問15へ
  - ⑩ 答えたくない → 問15へ

問14 (問13で①~⑧とお答えの方に)

あなたは、支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか。次の中から2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 安定感・頼りがい
- ② 主義主張の一貫性
- ③ 政策の現実性
- ④ 保守的な姿勢
- ⑤ 革新的な姿勢
- ⑥ 中道的な姿勢
- ⑦ 党首の魅力
- ⑧ 開かれた党運営
- ⑨ 日本国憲法への姿勢
- ⑩ 清潔なイメージ
- ⑪ 長期的な視点
- ⑫ その他 ( )
- ⑬ なんとなく

問15 あなたは「支持政党なし(無党派)層」について、どのようにお考えですか。

次の中から2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 政治を不安定にさせている
- ② 自由に1票を行使している
- ③ 政治に対して無関心、無責任
- ④ 政治に関心の高い人が多い
- ⑤ 政治・政党への不満、不信の表れ
- ⑥ 選挙での波乱要素になっている
- ⑦ 政党の努力しだいで減っていく
- ⑧ 政治家個人中心の選挙が背景にある
- ⑨ 棄権が多く投票率を下げの一因
- ⑩ その他 ( )
- ⑪ なんととも言えない・わからない

問16 あなたは、政党が統一や分裂して新しい政党が生まれたり、新しい協力関係をつくらたりする「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか。

- ① 期待する
- ② 期待しない
- ③ なんととも言えない・わからない

- 問17 あなたは、今の民主党が政権を担当する能力を持っていると思いますか。
- ① 持っていると思う
  - ② 持っていないと思う
  - ③ なんとも言えない・わからない

- 問18 あなたは、次の衆院選はいつごろ実施するのがよいと思いますか。
- ① できる限り早めに
  - ② 1年後くらいに
  - ③ 任期満了（09年秋）で
  - ④ 時期にこだわらない
  - ⑤ なんとも言えない・わからない

- 問19 あなたは、日本の将来を考えると、とくに心配したり不安に思うことがありますか。次の中から5つ以内でお答えください。
- ① 経済の国際競争力の低下
  - ② 国の安全保障
  - ③ 社会保障・福祉の水準低下
  - ④ 政治の不安定・不信
  - ⑤ ふくれる財政赤字
  - ⑥ 進まない行政改革
  - ⑦ 官僚依存型の社会の体質
  - ⑧ 雇用の不安
  - ⑨ 景気の行方
  - ⑩ エネルギー不安
  - ⑪ 青少年の教育・育成
  - ⑫ 高齢化と少子化
  - ⑬ 地球環境・自然破壊
  - ⑭ モラルの低下
  - ⑮ 食糧危機
  - ⑯ 犯罪の増加
  - ⑰ 特にない・わからない

- 問20 あなたが日ごろ、政治、経済、社会の動きについて思っていることを、ご自由にお書きください。

＜性別＞ ① 男性 ② 女性

＜年代＞ ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代以上  
(※年代と合わせて、選択肢番号を付けております)

＜職業＞ ① 農・林・漁業 ⑥ 商工・自営業  
② 事務・技術系の勤め ⑦ 主婦  
③ 現業系の勤め ⑧ 無職  
④ サービス系の勤め ⑨ その他（具体的に )  
⑤ 役員・管理職・自由業

＜地域＞ ① 北信 ② 東信 ③ 中信 ④ 南信

＜選挙区＞ ① 1区 ② 2区 ③ 3区 ④ 4区 ⑤ 5区

＜結婚＞ ① 既婚 ② 未婚

＜暮らしぶり＞ ① 上の上 ② 上の下 ③ 中の上 ④ 中の下 ⑤ 下の上 ⑥ 下の下